

16 (桃札⑬) 立ち別れ いなばの山の峰に生ふる まつとし聞かば 今帰り来む

中納言行平

意味:あなたと別れて今から私は因幡の国に行きますが、その国の稲葉山の松のように皆さんが私を「待っている」と聞いた日にはすぐにでも帰ってきますから。

1 たちわかれ いなばのやまの みねにおふる まつとしきかば いまかえりこむ	2 い ま み い た	3 立ち別れ 因幡の山の 峰に生ふる まつとしきかば いまかえりこむ
読みます。	読みます。	いくつかを漢字にしてみました。
4 立ち別れ 因幡の山の 峰に生ふる まつとしきかば いまかえりこむ 「因幡の山の峰に生えているのは何でしょうか。」	5 立ち別れ 因幡の山の 峰に生ふる まつとしきかば いまかえりこむ 「因幡の山の峰に生えているのは何でしょうか。」	6 まつ 立ち別れ 因幡の山の 峰に生ふる まつとしきかば いまかえりこむ
「因幡の山の峰に生ふる」とあります。因幡の山に生えているものは何でしょうか。歌の中から探さない。	答えは、「松」です。	「まつ」には、植物の松以外に、もう一つの意味があります。何でしょうか。(待つ)
7 立ち別れ 因幡の山の 峰に生ふる まつとしきかば いまかえりこむ まつ 松 待つ 「まつ」の、もう一つの意味とは何ですか。	8 まつ 松 待つ 「松」と「待つ」をかけた、別の百人一首とは何でしょう。	9 みやゆまこ まつ 松 待つ 「松」と「待つ」をかけた、もう一つの百人一首とは何でしょう。
別れていても、因幡の松のように、あなたが私を待ってくれるのならすぐにでも戻ってきましょう。」という歌なのですね。	「まつ」で、植物の松と待ち続ける、両方の意味を持つ百人一首は、もう一つあります。何でしょう。	ヒントです。

10 こぬ人を まつほのうらの まつふなぎに やくやもしおの みもこがれつつ まつ 松 待つ 「松」と待つをかけた、 もう一つの百人一首とは何でしょう。 立ち別れ 因幡の山の 峰に生ふる まつときかは いまかえりこむ	11  中納言行平 (在原業平の兄)	12 須磨(兵庫県)に流罪 源氏物語「須磨の巻」の 話のモデルに  中納言行平 (在原業平の兄)
「来ぬ人を」の歌です。ここにも、2つの意味で松が使われています。	作者の「中納言行平」。この人は「ちはやふる」の作者「在原業平」の兄です。このひとは、因幡、今の鳥取に国の長官として赴き、その時にこの歌を作りました。	それとは別に、今の兵庫県である「須磨」に、流罪となったという経緯があるのです。これがモデルとなり、源氏物語の「須磨の巻」が誕生したといわれています。
13	14	15
16	17	18